

## 122. DX推進のためのビジネスアーキテクト入門 ～デジタル事例から学ぶビジネスモデル～

### 1. 研修要領

・ITSS	3-4
・研修実施日	2024年7月30日(火)～2024年7月31日(水)
・研修実施時間・日数	9:30 ～ 16:30 (6時間/日) / 昼休憩 12:30 ～ 13:30 (60分)
・研修会場	福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	63,000円

### 2. 対象者

デジタル時代にイノベーションを期待されるリーダー・これから関わるメンバ  
(DXを推進する部門においてリーダー、マネージャの役割を担っている、または将来プロジェクトを担う方、DX時代の提案を担う方)

### 3. カリキュラムの概要

デジタル時代、変革が求められる時代に、顧客(ユーザ部門)とともに、新しいビジネスモデルを構想することをすべての社会人にリテラシーとして求められています。  
働き方改革が、なかなか「改善」の域から出られないように、本質的な課題に向き合う必要があります。  
そうしたビジネスモデルの価値を考えることから、ビジネスの本質に迫る発想と、経営とITとの橋渡し・業務課題の見える化をするスキルを習得するコースです。

### 4. 使用教材

オリジナルテキスト

### 5. 到達目標

- DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代に必要とされる「顧客に寄り添うビジネス価値提案」ができるようになる。
- イノベーションを起こすプロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素を含んだプランが作成できるようになる。

### 6. カリキュラムの詳細

2日間(12時間)

	科目	時間	科目の内容
1 日 目	1. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える	3.0h	◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆顧客視点からビジネス上の価値を考える ◆本質的な違いを理解する<クイズ> ◆事例からビジネスモデルを考える(デジタル事例の紹介)
	2. ステークホルダと価値の分析	3.0h	◆ステークホルダの分析 ◆ステークホルダの価値の分析 [ステークホルダの価値分析] <実践ワークショップ:> ・カスタマジャーニーマップ 作成(ワークショップ) ・バリュープロポジションによる価値の分析>
2 日 目	3. 超上流工程の考え方(案件・プロジェクト企画)	3.0h	◆経営とITとの橋渡し～ポートフォリオ・プログラム・プロジェクト ◆プロジェクトマネジメントとプロダクトマネジメントの相違 ◆デザイン思考的発想 ～未知へのチャレンジプロジェクト ◆IT組織としての方向性・データからの価値創出
	4. ビジネスモデルの見える化	3.0h	◆ビジネスモデルの分析 ◆複数テーマの分析(優先度の分析) <実践ワークショップ:> [価値の分析]ビジネスモデル・キャンバス バリュープロポジション・キャンバス作成> ※見える化して社内提案
	計	12.0Hr	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。